

評価結果の政策への反映状況報告書

平成28年3月7日

政策の名称	政策の目的・目標	政策評価の結果の概要	政策評価の結果の政策への反映状況
<p>インターネットによる 古典籍の紹介</p>	<p>書陵部図書寮文庫において収蔵する古典籍の目録のデータベースを作成し、画像データとともに宮内庁ホームページを通じて広く国民に紹介し、利用者の利便性の向上を図ることを目的とした。</p>	<p>(必要性) 古典籍の目録は、データベース公開により、インターネット上で容易に確認ができるようになり、目録・画像公開システムへのアクセス件数は、平成25年11月の運用開始から平成27年3月まで、月平均約9万6千件であった。これは同システムへの需要が非常に高かったことを裏付けている。</p> <p>(有効性) アンケートの結果は概ね好評であり、「ギャラリー」についても、興味深い、おもしろいといった肯定的な評価が多く寄せられた。 また、学識経験者の意見においても、利用しやすいという評価や、書陵部が率先して画像公開を進めることで他へも良い影響を及ぼすことが期待されるといった評価がなされており、本事業が有効性の高いことを裏付けている。</p> <p>(効率性) 図書寮文庫システムの賃貸借及び保守の契約では、一般競争入札を実施した。また、既に他機関で画像が公開されている古典籍は、当該他機関の了承を得て、そのURLにリンクを貼るなど、可能な限りコストを削減している。 また、システム公開時などに報道機関へ事前にレクチャーやお知らせを行うことで、大きな広報効果を得ており、以上は、本事業が効率性の高いものであることを裏付けている。</p> <p>(今後の課題) アンケート結果や学識経験者の意見において、更なる画像の充実が期待されていることから、順次、公開画像を増やしていきたい。画像は、当庁でデジタル画像化したものと、国文学研究資料館で公開されている当庁所蔵資料の画像にリンクしているものがあり、ともに公開画像数を増加させていくことに加え、当庁所蔵資料画像の公開を予定している他機関との連携も進めていく。また、検索の改善についても、今後検討していくこととしたい。</p>	<p>・アンケートや学識経験者の意見を踏まえ、利用者の利便性向上のため、当庁所蔵資料における公開画像数の増加並びに他機関との連携を進めている。 当庁所蔵資料における公開画像数の増加については、1075件追加掲載した。今後も引き続き公開を行うべく準備を進めている。 また、他機関との連携については、国文学研究資料館以外に新たに東京大学並びに慶應義塾大学とそれぞれ提携し、公開準備を行っている。 これらの取組によって、当庁の目録・画像公開システムにおける閲覧可能な古典籍画像の充実化を図っているところである。</p>